

研究業績（論文）について

提出する研究業績は以下の要件を満たしている必要があります。申請前に下記を熟読の上、要件を満たしていることを確認の上 申請してください。

研究業績（論文）の要件

がん薬物療法に関連した原著論文、症例報告または総説で、peer review system がある全国誌に掲載されたものであること。掲載論文が医学博士号の審査の対象にされる各医科大学、医学部の発行する雑誌は全国誌レベルとみなす。

- * peer review system があっても、依頼原稿など査読を受けていないものは除外する
- * 申請書提出時に in press となっているものは可とするが、投稿中のものは業績とはみなさない
- * 該当論文等の全文の別刷または写しを提出する

注意事項

がん薬物療法に関連した原著論文、症例報告または総説について：

すべて何かしらのがん薬物療法に関連した原著論文、症例報告、治療に関わる総説であること。学会の Abstract、Proceeding、Correspondence などは認められない。Letter は一部の雑誌（Nature など）を除いて原則認められない。Letter が適格かどうかの判断については、内容、長さ、査読対象の有無などをもとに、専門医審査部会にて判断する。

対象が悪性腫瘍でないもの、細胞株・動物実験を主としたもの、手術、放射線療法、緩和医療、医療機器のみに関わる論文は、適切でないと判断する。また、患者サンプルを用いた遺伝子解析やリスク分類による予後解析のみで、がん薬物療法の記載がない論文も適切でないと判断する。ただし、CAR-T 療法などの細胞療法に関わる論文は可とする。

全国誌とは：

地域の団体やグループ（医師会報、病院誌など）が発行する雑誌ではなく、全国的に知られており、かつ peer review system を有するもの。学会あるいは大学が発行する雑誌で peer review system を有するものも可とする。

in press の論文を提出する場合：

論文全文に加えて、受付通知（通知がメールの場合はメールでも可）の写しを提出する。

ただし、正式な出版時期が認定予定日（申請翌年の 4/1）を過ぎるものは不可。

別刷または写し：

掲載論文の別刷（返却不要の場合は原本も可）、または掲載誌の写しを指す。出版元サイトや検索サイト等のハードコピーでも構わないが、出典が明示された全文を提出する。Abstract のみの申請は受理しない。

申請者氏名および筆頭・Correspondence の記述部分をマーカー等でマークし、申請書に記載された番号を表紙に記載するなど、判別を容易にしておくこと。

筆頭論文・Correspondence として申請する場合は、その旨が記されていること。